

5 生物多様性

①生物多様性とは？

教科との関連

- 理科〔第1学年〕(1)いろいろな生物とその共通点
 - (ア)生物の観察と分類の仕方 ㊦生物の観察 ㊧生物の特徴と分類の仕方
 - (イ)生物の体の共通点と相違点 ㊦植物の体の共通点と相違点
 - ㊧動物の体の共通点と相違点
- 〔第2学年〕(3)生物の体のつくりと働き
 - (イ)植物の体のつくりと働き ㊦葉・茎・根のつくりと働き
 - (5)生命の連続性
 - (ウ)生物の種類の多様性と進化 ㊦生物の種類の多様性と進化
- 〔第3学年〕(5)生命の連続性
 - (イ)遺伝の規則性と遺伝子 ㊦遺伝の規則性と遺伝子
 - (7)自然と人間
 - (ア)生物と環境 ㊦自然界のつりあい ㊧自然環境の調査と環境保全
 - (イ)自然環境の保全と科学技術の利用 ㊦自然環境の保全と科学技術の利用

ねらい

都会である大阪市にも、多様な自然環境が残っていることを、生徒に気づかせるとともに、自然環境(生物多様性)保全の意識を向上させる。

留意点

- 生物多様性には、『生態系の多様性』『種の多様性』『遺伝子の多様性』があることに気付くことができるようにする。
- 「緑の環境」「水辺空間の創造」では、都会の中にも、かなりの緑や生物が残されていることに気付くことができるようにする。これと関連付けて、校区内の自然環境にも気付くことができるようにする。
- 「大阪市内河川魚類生息状況調査」では、生息する魚の種類や数だけではなく、河川による分布の違いや生息状況の変化から、校区内の状況と関連付けて、地域・河川による環境の違いにも気付くことができるようにする。

参考資料

- ◆大阪市内河川魚類生息状況調査：大阪市内を流れる複数の河川で実施されている調査で、結果データと魚の写真が多数掲載されています。

5 生物多様性

④生物多様性条約

教科との関連

○理科

〔第3学年〕(7)自然と人間

(ア)生物と環境 ㊦自然界のつりあい

㊧自然環境の調査と環境保全

(イ)自然環境の保全と科学技術の利用

㊦自然環境の保全と科学技術の利用

○社会

〔公民的分野〕

D 私たちと国際社会の諸課題

(ア) 世界平和と人類の福祉の増大

(イ) よりよい社会を目指して

ねらい

生物多様性の保全についての世界的な動きと大阪市の取り組みを知り、諸課題を解決するための取り組みについて考えることができるようにする。

留意点

- 生物多様性条約や締約国会議について知り、世界全体で生物多様性保全に取り組んでいることに気付くことができるようにする。
- 前述の「大阪市生物多様性戦略」の計画期間が愛知目標や生物多様性国家戦略と同じであることに気付くことができるようにする。
- 身近なたこ焼きを事例に、世界の生物多様性の恵みと関連付けて考察できるようにする。

参考資料

◆大阪市生物多様性戦略：2050年までのめざすまちの姿(長期目標)、2020年度までの短期目標と達成に向けた取り組みについて掲載されています。